

会費納入について

「あなたの会費が国大化学会と大学・学生を支えています。」 会費納入の現状と今後の会費納入促進対策について（お願い）

会費納入促進 G 熊代 幸伸（昭和 39 年電化卒）
坂本 泰一（平成 2 年物質工卒）
本間 昭弘（昭和 44 年 2 部応化卒）

はじめに

昨今、同窓会の役割が、従来の卒業生の懇親会的位置づけから、大きく変化しています。すなわち、法人としての大学への参加協力、学生への具体的支援の比重が大きくなってきています。

私たち卒業生は、これらの変化を敏感に受け止めての活動が必要です。そのために、会費納入状況は、十分ではありません。皆様に、その実情を知っていただくとともに、今後の同窓会をより強固にしていこうではありませんか。対策へのご協力をお願いいたします。

（現状）

①連絡先不明者（会誌を送付した時、住所不明で戻る）が多い。

平成 22 年 1 月末の調査で、2,726 人の会員が連絡先不明です。特に平成卒業の会員は、半数近くの方が連絡先不明状態です。

②会費納入の低さ

平成 21 年度の会費納入者数は、1 月末現在で、まだ 1,112 人です。平成 20 年度 3 月末の 1,953 人と比べて、841 人も減っています。

これは連絡のとれている会員（会誌送付が可能な会員 4,044 人）の約 27.5%です。

③同窓会の変化への理解不足

「はじめに」で述べたように、国大化学会の役割が大きく変化してきていることの認識不足があります。

（対策）

①連絡先不明者が多い。

連絡先の調査のために新設される同窓委員の皆様をお願いしてクラスまたは研究室の不明者の住所を調べていただくことを再計画します（すでに、平成 20 年度に 1 回実施済み）。

抜本的には、卒業時に連絡先（親元を含む）を登録していただき、国大化学会事務局で保存する。

②会費納入の低さ

会費の振込みは、郵貯銀行が中心になっていますが、銀行（横浜）振込み口座の方法も紹介しています。現在、会員から納入された会費と寄付金の約 10%が学生支援等に使用中です。

③同窓会の役割変化への理解不足

国大化学会機関紙や E メール（ホームページ、メルマガ）を通して、大学諸活動と国大化学会の協力例の紹介と学生支援状況（教育研究支援基金の支援報告、技術支援、就職活動支援等）を行って、国大化学会の役割変化を正しく理解していただく。タイトルに書きましたように「あなたの会費が国大化学会と大学・学生を支えています」が、会を発展させるための基本です。

ご理解いただき会費納入をお願いいたします。

（文責 本間）